

第 115 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

平成 30 年 12 月 14 日（金）

ITER/BA 成果報告会 2018（有楽町朝日ホール）

2. 来訪者 60 名

3. 説明概要

有楽町朝日ホールで開催された ITER/BA 成果報告会において、ITER 計画に関するポスター、ITER 模型の展示、パンフレット等の配布を行い、ITER 計画の概要、最新の建設状況、ITER 国内機関として ITER 製作機器の製作状況及び調達活動、ITER 機構職員数の現状に関して説明を行った。また、建設中の ITER サイトの様子を見ることができる VR の体験コーナーの設置、ヒト型ロボット”Pepper”を用いた ITER 概要説明を行った。

（ITER 連携推進グループ 會澤、古田、遠隔保守機器開発グループ 野口）

4. 主な Q&A

Q：展示物の ITER 鳥瞰図ポスターが欲しいのですが入手可能ですか？

A：ITER Japan ウェブサイト「ポスターダウンロードページ」からダウンロードが可能ですので、ぜひご利用ください。

<http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/posterdownload/iterposter.html>

Q：ITER職員公募の申込方法を教えてください。

A：まずITER職員公募登録制度の会員になっていただきます。会員に配信される最新募集情報の中から希望ポストのJob detailを確認し、CV、Cover letter、Motivations（志望動機）をご用意いただき、ITER機構のホームページから応募していただきます。

Q：ITER職員には事務職もありますか？

A：事務職もございます。人事・財務・調達等の職種の公募が出ることもありますのでご検討ください。

Q：核融合エネルギーは実用化に向けてどのような計画で進められていますか？

A：現在、核融合の科学的・技術的実現を実証するために実験炉「ITER」を建設しています。ITER のファーストプラズマは 2025 年を予定しており、その後、重水素を使用した運転を経て、2035 年に実際の燃料であるトリチウムを用いた運転を開始します。また、ITER

で持続的な核融合燃焼実証後には、原型炉の建設、実用化というステップで核融合エネルギー実現に向けて計画が進められる予定です。

5. 展示ブースの様子

